

①木製バットの研究

岐阜県養老町にあるミズノテクニクス株式会社へ行き、プロ野球選手のバットを作る、渡辺クラフトマンのバット作りや、木製バットの樹種、規則について見学をしました



木製バットに使われる主な樹種
アオダモ、ホホワイトアッシュ、メイプル

目的

- 木製バットに使われている樹種、特徴・作り方を
知る
- エゴノキでバットを作り、実際に打ちバットとして向いているのか試してみる

木製バットの研究 と エゴノキバット製作

En 2年 服部 潤

②エゴノキバット製作

岐阜県美濃市の瓢ヶ岳でエゴノキを採取

↓
乾燥バットと生木バットの2つのエゴノキバットを製作

●乾燥エゴノキバット

- ・割れあり、節あり、芯もち
- ・含水率 約8%
- ・長さ 84cm
- ・重さ 970g
- ・120度で人工乾燥



●生木エゴノキバット

- ・節あり、芯もち
- ・含水率 約36%
- ・長さ 84cm
- ・重さ 1070g



●一般硬式木製バット

- ・公式用と練習用がある
- ・含水率 8~13%
- ・長さ 83~85cm
- ・重さ 880~930g



④まとめ

- | | |
|-----------------------|------------------|
| ●乾燥エゴノキバット | ●生木エゴノキバット |
| ・反発が強い | ・反発が強い |
| ・折れにくい | ・乾燥バットより折れにくい |
| ・乾燥した割れの部分が原因で折れてしまった | ・重くて振りにくいが折れなかった |

～エゴノキはバットとして使える！～

しかし、生産性ではエゴノキの直径は太くならないため、一般的なバットになるのは難しい



③実際に打ってみた

- ・両方とも手に来る振動は少なくボールの弾きが良い
- ・打つ感触が良く、よく飛ぶ

※乾燥バットは約14球で折れた

※生木バットは折れなかった

